

■高地 秀明

1955年 広島県尾道市生まれ
1978年 愛知県立芸術大学美術学部絵画専攻卒業
広島県美術展覧会大賞受賞(1987),第9回春季二紀展選抜奨励賞受賞(2008),第63回二紀展同人優賞受賞(2009)
天満屋福山店美術画廊個展(2000),ふくやま美術館個展(2002)
現在 二紀会会員 広島大学教授

■酒井 一樹

1988年 広島県福山市生まれ
2013年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了
小林和作奨励賞(2012),第16回絵のまち尾道四季展入選(2015)
佐藤紙店/二人展(2011),Gallery Bar 夢喰(2013),尾道市立大学美術館/グループ展(2014)さららカフェ(2015),来夢来人備後芸術の館/二人展(2015)
現在 無所属

■瀬尾 佳枝

1976年 広島県福山市生まれ
1999年 名古屋芸術大学美術学部彫刻学科卒業
1999-01年 塑像研究科在籍
日展初入選(1998) 白日展初入選(1999) 白日展佳作賞(2000)
現在 白日会会友 専門学校,高等学校非常勤講師

■渋谷 清

1962年 東京都生まれ
1987年 東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程(絵画講座)修了
銀座スルガ台画廊(91,93,95,98/東京),しぶや美術館(95,97/福山)
成羽町美術館(96/岡山),ギャラリー福山(97,99,01,03,05,06,08,10,12,13/東京),池田舎(98/東京),ギャラリーエスプリ・ヌーボー(99,02/岡山)などで個展開催
現在 無所属 福山市立大学教授

■瀧 真理子

1984年 大阪府生まれ,後に広島県に移住
2008年 名古屋芸術大学美術学部洋画コース卒業
独立展初入選,尾道市美展 教育委員会賞(2011)
現在 無所属 広島県立呉宮原高等学校教諭

■橋野 仁史

1982年 熊本県生まれ
2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了
第82回国展奨励賞(2008),第88回国展会友賞(2014)
「HiBi2008」尾道市立大学美術館(隔年開催),尾道からの「3人展」アートガーデン(2008),「国展受賞作家展」井上画廊(2009),「橋野仁史・炭田紗季二人展」GALLERY M.A.P(2010)
現在 国画会準会員 尾道市立大学助手

■長谷川 雅敏

1956年 広島県福山市生まれ
1979年 岡山大学教育学部特別教科美術・工芸教員養成課程卒業
東光展初入選(1979),東光展「東光賞」受賞(1983),広島県美展3回受賞 無鑑査(1990),日展初入選(1994),東光展「会員賞」受賞(2011)
時悠館個展(2009)
現在 東光会会員 広島県立福山誠之館高等学校教諭

■花岡 寿一

1968年 広島県尾道市生まれ
1992年 名古屋芸術大学洋画科卒業
光陽展安田火災財団奨励賞(2000),光陽展文部科学大臣奨励賞(2003),絵の現在選抜展金賞(2005),しんわ美術展グランプリ(2005)
一枚の絵ギャラリー/銀座・渋谷美術館/福山などで個展開催(2006)
現在 光陽会会員 福山美術協会理事,福山YMCA芸大受験予備校主任講師

■原 夕希子

1987年 広島県福山市生まれ
2011年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了
卒業制作買い上げ(2009),第27回ホルベイン・スカラシップ奨学生(2013)ギャラリーひらた(2009・2010),gallery月夜と少年・あーとらんどギャラリー/グループ展(2011),Space甦る(2013),第86回国展絵画部企画展示/国立新美術館(2012)
現在 無所属

■牧原 竜浩

1976年 広島県広島市生まれ
2005年 広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程単位取得 満期退学
第1回ホキ美術館大賞展入選(ホキ美術館/千葉)(2013),RUBICON展/天満屋広島八丁堀店・東邦アート/東京・銀座/グループ展(2001)
現在 無所属 広島大学附属福山中・高等学校教諭

■横大路 綾乃

1976年 広島県福山市生まれ
1997年 兵庫大学短期大学部美術デザイン学科卒業
1998年 専攻科修了 研究科在籍
第33回主体展佳作作家(1997)以後出品,第49回主体展秀作家 会員推挙(2013)
茶屋町画廊/大阪(1998),主体関西作家展(1999),グストハウス/神戸(2000),孔雀荘/尾道(2013)
現在 主体美術協会会員 高等学校非常勤講師

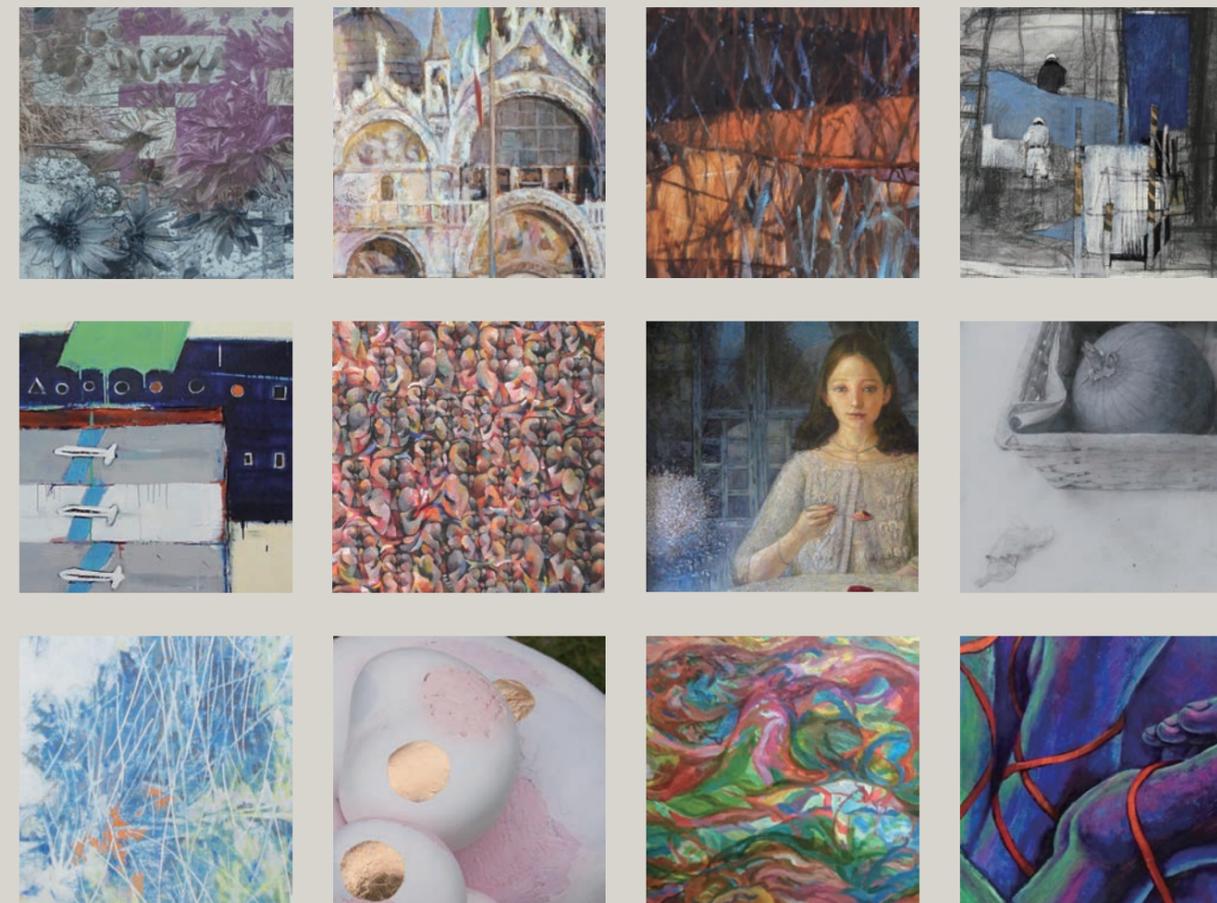
■和田 道雄

1960年 広島県福山市生まれ
1985年 東京学芸大学大学院教育学研究科(絵画講座)修了
広島県美術展奨励賞(1993年,第47回同賞),公募「広島美術」佳作(広島市現代美術館2003年)等受賞
ギャラリーイセヨシ・藍画廊・フタバ画廊/以上東京・渋谷美術館/福山などで個展開催
現在 独立美術協会会友 広島県立福山葦陽高等学校教諭

第4回

Group goût 絵画 彫刻12人展

Gg展



○ 出品作家と美術館学芸員によるギャラリートーク

5月23日(土) 15:00 - 16:00 ギャラリー内



第3回Gg展ギャラリートーク

○ Gg展blog

出品作家の情報、展示会の案内など
随時更新しています。
URL groupgout.blogspot.com



○ 第4回 Gg展—絵画 彫刻12人展—

○ 会期:2015年5月19日(火)~5月24日(日)

○ 会場:ふくやま美術館ギャラリー

〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-3

○ 開館時間:9:30~17:00[最終日は16:30まで]

○ 入場無料

○ goûtの会 代表 和田道雄

○ アクセス:山陽自動車道 福山東インターチェンジより西へ車で約20分

JR福山駅北口より西へ約400m



2015年5月19日(火) - 5月24日(日)

ふくやま美術館 ギャラリー

9:30 - 17:00 最終日は16:30まで [入場無料]

第4回

Group goût
Gg展

アートは誰のために？

画家や彫刻家たちは、誰のためにアート作品をつくるのだろうか。もちろん作家自身のため、という部分も多いであろう。しかしそれだけなら、何も苦労して展覧会に出す必要もないであろう。誰かに見てもらいたい、理解してもらいたいと思う気持ちがどうしてもあるから、展示をするのだろう。その相手とは誰なのだろうか？

古来、絵画などは注文によって制作されてきた。それは教会や寺院、時の権力者、成功者などのための宗教画や肖像画などであり、はっきりした目的をもった絵画であった。しかし、19世紀後期になると近代的な芸術家が現れ、[誰のためでもない]自律的な絵画が制作されるようになった。市場経済の発展により画商が台頭し、市民たちが自宅のために絵画を求めるようになったのである。

現在において自律的なアートというのは自明のことではある。しかし誰のためにということもお問われるべきで、アートマーケットのために、という作家はごく少数であろう。それは、作家にとっても重要なことで、子供たちのためにという場合もあるだろうし、ある詩人を唸らせるためにという場合もあるだろう。誰かのためにと強く考えることは、作家のイメージを刺激し、作品を豊かにし、完成度を高くしていくと思われる。

今回のGg展には、12人の作家たちが参加している。福山や尾道を中心として活動する作家たちで、そのほとんどが教職に携わっている。彼らは次の世代を担う若者たちと日々接しているが、はたしてその作品を誰のために本気でつくっているのだろうか。そんなことを想像しながらこの出品作を見ていくと興味が尽きないと思うのである。

谷藤史彦(ふくやま美術館学芸課長)

* Gg展は、2012年に高地・渋谷・長谷川・和田の4人によって結成されて、活動を開始したグループ・グー(Group goût)の展覧会である。



高地 秀明《風の記憶》 181.8×227.3



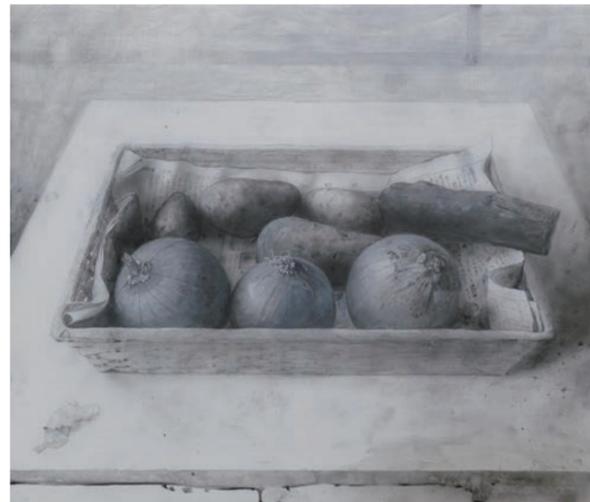
長谷川 雅敏《陽光》 162.1×130.3



花岡 寿一《少女とオムライス》162.1×130.3



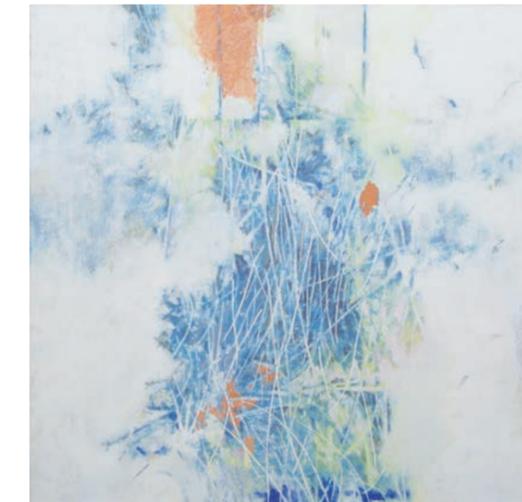
渋谷 清《分水嶺》 396.0×198.0



牧原 竜浩《タマネギとジャガイモ》 45.5×53.0



和田 道雄《飛行機15-01》 194.0×162.0



橋野 仁史《遊》 162.0×162.0



瀬尾 佳枝《水玉》 70×85×60



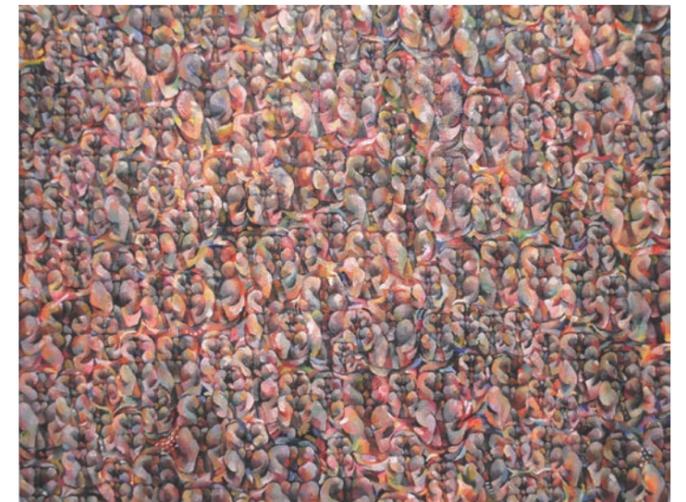
瀧 真理子《結ぶ》 162.0×162.0



横大路 綾乃《二人》 162.0×194.0



酒井 一樹《工事中》 36.4×51.5



原 夕希子《ゆびふし》 33.3×53.0